

事務事業名	文化財保護活用事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12416				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久				
			所属担当	文化財担当	担当者名	石川 珠美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	05	020	02
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
法令根拠			南アルプス市文化財保護条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
	埋蔵文化財、国重用文化財・藤家住宅を除く市内文化財の保護活用を図る事業。長谷寺、鋳物師屋遺跡、三恵の大ケヤキ、古長禅寺、下市の獅子舞、などが国県市の文化財に指定されている。条例に基づく文化財保護審議会の運営も行っている。業務として ・指定文化財の維持管理(草刈・案内板の設置)保護、保存 ・指定文化財周辺の警備委託 ・指定文化財の所有者に文化財管理報償金の交付 ・古文書等の市所有文化財の整理、調査研修及び管理			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
			委員報酬	227	自動車保険等	48				
			作業員等賃金	1,426	その他の委託料	336				
			報償金	1,082	リース料	114				
			普通旅費等	90	その他補助金ほか	59				
			消耗品他	482	計	3,864				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	26年度活動予定
	条例に基づく文化財審議会の運営、埋蔵文化財を除く文化財の維持管理、保護保存。規定に基づく管理報償金の交付。古文書等の市所	条例に基づく文化財審議会の運営、埋蔵文化財を除く文化財の維持管理、保護保存。規定に基づく管理報償金の交付。古文書等の市所
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内所在の指定・登録文化財 一般市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市内の文化財が適切に保護・保存される。これにより、地域住民や子どもたちが地域の歴史や成り立ちを知り、ふるさと意識や郷土愛を持つことが出来る。先人たちの残した知恵や文化を大切に思い、これを次代に守り伝えて行こうと思う気持ちが生まれる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	歴史的・文化的背景を尊重したまちづくりが行われる。 歴史的文化的遺産のよりよい形での次代への継承が行われる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 保護・維持を行った件数	件
	イ	
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 指定・登録文化財の数	件
	イ 市民人口	人
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 先人の残した知恵や文化を大切に思い、これを次代に守り伝えていこうと答えた市民の割合	%
	イ	
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 地域の歴史や成り立ちを知り、ふるさと意識や郷土愛を持っていると答えた市民の割合	%
	イ 市内の文化財(地域資源)に触れたことがあると答えた市民の割合	%
	ウ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円			51				
		地方債	千円							
		その他	千円		126	67				
		一般財源	千円	3,356	4,552	3,843	4,710	3,859	3,859	
		事業費計(A)	千円	3,356	4,678	3,961	4,777	3,859	3,859	0
		人件費	人	5	5	5	5	5	5	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5		
		延べ業務時間	時間	810	810	810	810			
		人件費計(B)	千円	3,686	3,686	3,686	3,686	0	0	
		(A)+(B)	千円	7,042	8,364	7,647	8,463	3,859	3,859	0
活動指標	件		19.0	10.0	10.0	10.0				
対象指標	件		159.0	159.0	159.0	159.0	159.0	159.0	159.0	
	人		72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	
成果指標	%		37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	41.0		
	%									
上位成果指標	%									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年度から文化財を保護、継承し、歴史的文化的遺産をよりよい形で次代に継承するよう開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	南アルプス市には159件の指定登録文化財がある。年月を経るに、老朽化等様々な問題も出て来ており適切な管理を行う必要がある。特に天然記念物や樹木等の劣化が激しい。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	要望が寄せられていた、指定看板の旧町村の標示修正を行う事が出来た。文化財を所有する、個人や団体から管理報償金の値上げをしてほしいと言う要望が出ている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	指定文化財説明看板標示の修正(66件)
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	文化財所有者に対し、文化財の原状調査を行った。(修復、要望、相談等) 相談のあった説明看板の修正を行った。

事務事業名	文化財保護活用事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	-----------	-----	-------	-----	------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の大切な資源といえ、地域文化振興の素材とならる
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 当該文化財の所有は、個人、宗教法人、区等様々ではあるが、行政として文化財に指定した以上市が補助事業として関与して行くことは妥当 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域の住民や子どもたちが将来的に文化を発展させていくためにも継続的に文化財を保護保存し活用する事業を行う必要がある
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現状維持の予算の中で、環境整備等の維持管理、指定文化財管理報償金の交付を行っている
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 保護管理と教育普及事業等が両輪として機能することによってより効果をあげることができる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 文化財の保護・保存が出来なくなる。後生へ継承出来ない <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 文化財の保護・保存が出来なくなる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 条例により文化財保護審議会は運営し、規則に於いて指定文化財管理報償金を交付。文化財を後世に伝承するため最低限の管理を行い、除草等の環境整備についても地元のパランティア団体をお願いしているのでこれ以上の削減余地はない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状では管理に必要な最低限の人員で行っているため、これ以上の削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 文化財は市民共有の財産であり共有することで公平公正である

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	歴史的な文化遺産を後世に伝承していくために、この事業を継続し、文化財管理者と連携し文化財を維持保護していく。また、市の文化財をより多くの人たちに知ってもらうために広報やホームページ等でより一層の充実を図り、周知を行っていく

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ①文化財や天然記念物などの原状把握を行っていく ②文化財周辺の環境整備 ③インターネットでの周知(ホームページ、Mなび等)																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①文化財の破損等について所有者、文化財審議委員、県との連携を光にし、大事にならないように対処する ②文化財周辺の除草、や掃除 ③ホームページ、H23nenndo から始まったMなびで広く周知する	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度 成果優先度評価結果 ④ コスト削減優先度評価結果 ⑤																					